



周南市
緑の基本計画
概要版

「緑の基本計画」とは

緑の基本計画の背景と目的

人口減少及び少子高齢化社会の到来や、集約型都市構造化の推進等、緑を取り巻く社会の変化や周南市のまちづくりへの取り組み状況等を踏まえ、“水と緑の美しいまち”の実現に向け、公民一体となって緑とオープンスペースの保全、整備、活用、都市公園の管理を計画的に進めることを目的として、緑に関する総合的な取り組みと施策の方針を示す「周南市緑の基本計画」を改訂することとなりました。

緑の基本計画とは

緑の基本計画とは、都市緑地法第4条に基づき策定するもので、都市の緑の適正な保全及び緑化に関する基本計画です。

具体的には、緑地の保全及び緑化の目標、それを実現するための施策に関する事項を定め、緑地の保全、緑化の推進、都市公園の整備などを公民一体となって総合的に進めていくための指針となります。

計画対象区域

周南市全域（65,629ha）

計画期間

平成20（2008）年から 令和10（2028）年
概ね20年間

緑とオープンスペースをとりまく社会動向

「地球環境問題」「人口減少と高齢化社会」「豊かな地域づくり」「都市再生」に対応したまちづくりが進む中、機能としての「緑」の量的確保から、「緑とオープンスペース」を通じたまちづくりといった質的向上へ転換し、都市の課題解決や目指す都市像の実現に寄与することが求められています。

● ストック効果を高める

緑とオープンスペースが継続的に機能することで得られるストック効果をより高め、社会状況の変化に柔軟に対応した空間やサービスを提供し続けることが求められています。そして、地域の特性や周辺のニーズ、社会状況の変化に応じた公園の再編等、全体の中での効果的な活用や連携の観点を持ち、まちづくりの一環として取り組むことが必要です。

● 公民の効果的な連携

質の高い緑の空間を創出するには、地域住民やまちづくり団体等との連携協力が重要です。また、民間事業者等の資金や知識、技術力を生かした効果的・効率的な施設の整備や管理運営が求められています。公民のより一層連携した緑とオープンスペースの整備、管理運営、利活用を図ることが必要です。

● 都市公園を活かす

都市公園は多面的な機能を有する空間として大きな役割を果たしており、今後は公園毎の個性や特性、時代の変化に応じた整備、管理運営を行うことで、都市公園が持つ可能性を最大限に引き出し、次世代に継承していくことが重要な課題となっています。そのために、まちの魅力や価値の向上に向けた都市公園マネジメントや、地域ニーズに応じた公園整備、多様な主体による公園運営の推進等が求められています。

緑の役割

緑は、人々の潤いのある生活や営みの創出の中で、美しい景観を構成する空間的な役割だけでなく、地域の歴史・風土、生活文化の形成、人々の心身の健康の増進といった、豊かで質の高い生活を送るために重要な役割を担っています。

緑の役割を整理する上で、環境保全、レクリエーション、防災、景観といった4つの系統に分類した緑の7つの役割に着目し、これらに配慮した計画を策定します。



図 4つの系統と7つの役割

計画の位置づけ

周南市緑の基本計画は、「周南市まちづくり総合計画」及び「周南市国土強靱化地域計画」を上位計画とし、山口県が策定する「都市計画区域マスタープラン」や「周南市都市計画マスタープラン」における基本理念に即するとともに、「周南市立地適正化計画」等と整合を図ります。

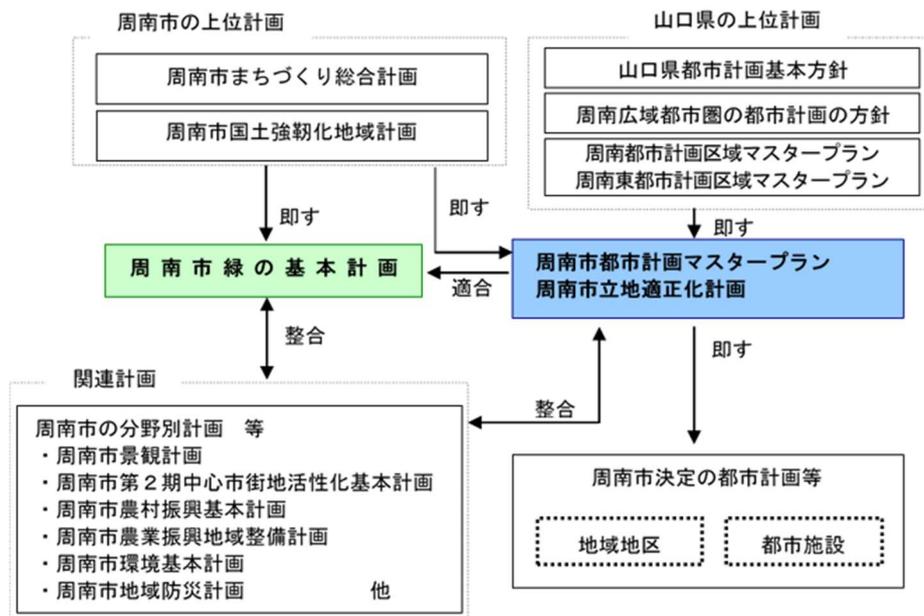


図 計画の位置づけ

SDGsを踏まえた緑とオープンスペースの取り組み

SDGsとは、平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて全会一致で採決された、令和12(2030)年を期限とする国際社会全体の開発目標で、持続可能な社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むこととされており、17のゴール(目標)と169のターゲットが設定されています。

本計画においても17の目標のうち「15 陸の豊かさを守ろう」と「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」を中心に、この趣旨を踏まえた取り組みを進めていきます。



図 Sustainable Development Goals

緑の現況と課題

周南市は、北側に連なる中国山地の山々やそのふもとに広がる田園、樹林地、そして南側に位置する美しい瀬戸内海とその島々といった豊かな自然の緑を中心とする「保全系の緑」に囲まれています。また、都市地域では公園・緑地や街路樹などの「創出系の緑」により、うるおいのあるまちなみを形成しています。

保全系の緑

保全系の緑は、山間地や瀬戸内海の島々、市街地周辺に広がる森林・田園・水辺等の緑があります。



【烏帽子岳ウッドパーク】



【太華山からの眺望】



【大道理の棚田と芝桜】

創出系の緑

創出系の緑は、公園・緑地や岐山通・御幸通に代表される街路樹、公共施設の緑などがあります。



【永源山公園】



【晴海緑地公園】



【徳山港線の街路樹】

周南市の緑の量

- ・周南市の市街地は、約 23%が緑で覆われており、そのうち約 70%が保全系の緑です。
- ・都市計画区域では、約 80%が緑で覆われており、市全体においても大部分が保全系の緑が占めています。

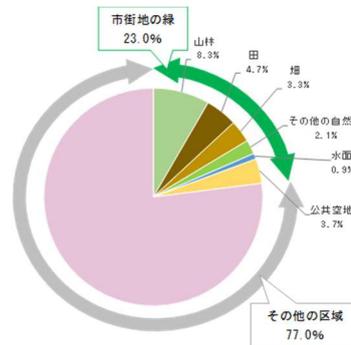


図 市街地の緑被率

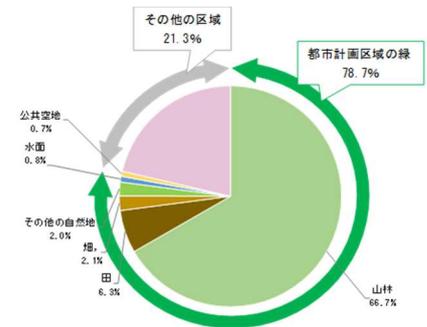


図 都市計画区域の緑被率

緑に関する市民の意向からみた課題

- (1) 緑豊かな森林や貴重な自然資源の保全・育成
- (2) 市民に親しまれる身近な公園の充実と多様なニーズへの対応
- (3) 市民・行政の協働と緑化活動への支援

緑の役割からみた解析・評価

- (1) 環境保全系統
- (2) レクリエーション系統
- (3) 防災系統
- (4) 景観系統

緑の保全と創出に関する総合的な課題

- (1) 都市の骨格となる緑の保全・育成と自然との共生
- (2) 市街地における緑の充実と多様なニーズに応える緑とオープンスペースづくり
- (3) 緑をいかした防災機能の向上
- (4) 地域資源の保全と活用による魅力の向上
- (5) 公民のパートナーシップによる緑とオープンスペースづくり

緑の都市づくりの目標と方針

基本理念

上位・関連計画における位置づけや、望まれる緑の将来像、将来の周南市の緑に期待される役割等が原則的に変わらないことから、前計画の基本理念を踏襲します。

「ともに育てよう 水と緑の美しいまち 周南」

緑の将来像

～周南市の緑の将来像～

『周南市では、美しくうるおいのある“水と緑”を守り、育み、つながっています。そして周南市民は、自然と共生しながら、“水と緑”に囲まれた空間を活かし、安心・安全、快適・健康に暮らしています。』

- 人と自然がともに暮らせるうるおいのあるまち
- 自然とふれあい健康で快適に暮らせるまち
- 災害に強く安心・安全に暮らせるまち
- 地域の個性や資源を大切にしたい美しいまち
- 公民連携による活力のあるまち

将来像の実現に向けて

将来像や目標の実現に向けて、基本方針から推進のための施策まで、一貫した流れで体系づけます。



目標の達成に向けて

緑地の確保目標水準の設定

- ① 市街地面積に対する割合

400ha (9%)	➡	概ね 475ha (11%)
---------------	---	-------------------
- ② 都市計画区域面積に対する割合

17,787ha (71%)	➡	概ね 18,000ha (72%)
-------------------	---	----------------------

都市公園等の確保目標水準の設定

- ① 都市公園
(都市計画区域に対する目標)

14人/㎡	➡	概ね 20人/㎡
-------	---	----------
- ② 都市公園等
(市域全体に対する目標)

18人/㎡	➡	概ね 30人/㎡
-------	---	----------



緑の将来像を実現するため、5つの基本方針と10の基本方向を掲げて計画を推進します。

基本方針1 人と自然がともに暮らせるうるおいのあるまちづくり

都市の骨格を形成する緑となる市域北側に広がる森林・樹林地、郊外部に広がる田園、風光明媚な瀬戸内海、うるおいのある河川や湖といった周南市の美しい水と緑を後世に継承していくため、適切な維持管理と指導・誘導により、将来にわたり保全していきます。また、森林・樹林地、農地、水辺、公園等を中心に生物多様性の確保に向けた緑の保全・育成に努めます。

基本方向① 都市の骨格となる緑の保全

【施策】

森林の保全

農地の保全

水辺の保全

【施策細分】

森林・樹林地の保全
森林・樹林地の管理、活用

農地の保全、活用

海浜の保全
河川・ダム湖・ため池の保全



【中須北地区の棚田】



【せせらぎパーク】



【長田海浜公園】

基本方向② 自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成

【施策】

生物多様性の確保

ビオトープネットワークの形成

循環型の都市づくり



【生態系被害防止外来種の回収】



【ビオトープの拠点となる西緑地】



【マルチング状況】

基本方針2 自然とふれあい健康で快適に暮らせるまちづくり

誰もが心豊かで、快適に、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、人々の憩いの場、健康づくりの場、さらにはユニバーサルデザインによる施設整備といった、多様なニーズに対応した公園・緑地の配置と都市緑化の推進、身近なオープンスペースの確保を図ります。

基本方向③ 利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり

【施策】	【施策細分】
求められる多様なニーズへの対応	気軽に遊び、散歩・休憩できる身近な公園 本格的なスポーツが楽しめる公園 日常的な健康づくりの場となる公園 自然を学び、ふれあえる公園 歴史・文化と一体になった公園
利用しやすい公園づくり	ユニバーサルデザインによる整備・充実 市民参画による公園
質の高い緑とオープンスペースの管理・運営手法の確立	緑の管理・運営手法の充実 公園の管理・運営手法の充実



【新地公園の健康遊具】

基本方向④ 身近なオープンスペースの確保

【施策】	【施策細分】
公園・緑地の基本的な方向性	
公園・緑地の適切な配置	住区基幹公園 都市基幹公園 特殊公園 緩衝緑地 都市緑地・緑道
身近なオープンスペースの充実	身近なオープンスペースの創出と活用 道路、ポケットパーク 河川の活用 海辺の活用
公共グラウンド等の活用	学校グラウンドの活用 公共グラウンドの活用



【徳山動物園（徳山公園）】



【ポケットパーク】

基本方向⑤ 緑によるうるおいのあるまちなみの創出

【施策】	【施策細分】
公共空間の緑化	道路の緑化 河川の緑化 学校の緑化 公共施設の緑化
民有地への緑化誘導	住宅地の緑化 商業・業務地の緑化 工業地の緑化



【御幸通】

基本方針3 災害に強く安心・安全に暮らせるまちづくり

市民が、安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるため、災害からまちを守る防災機能に配慮した公園・緑地の配置と都市緑化の推進、身近なオープンスペースの確保を図ります。

基本方向⑥ 安心・安全に暮らせる緑の創出

【施策】

災害時の避難地、避難路の配置

災害を軽減、緩和する緑地の配置

自然災害を防止する緑地の配置

【施策細分】

防災拠点等の配置
避難路等の配置
公園と公共施設との一体的な配置

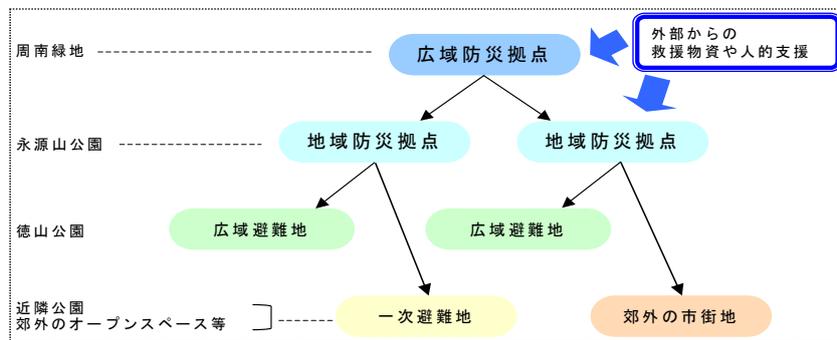


図 防災拠点等

基本方針4 地域の個性や資源を大切にしたい美しいまちづくり

緑豊かな街路樹や港湾、瀬戸内海、農村風景、そして風格ある歴史・文化的資源といった、多様な地域資源を効果的にいかしたイメージアップを図りつつ、緑の保全と創出による美しいまちなみの形成とオープンスペースを活用した魅力あるまちづくりを進めていきます。

基本方向⑦ 緑とオープンスペースをいかした市街地のイメージアップ

【施策】

中心市街地におけるにぎわいの創出

緑をいかした地域の“顔”づくり



【徳山駅北口駅前広場】

基本方向⑧ 地域の個性や資源の保全・活用

【施策】

優れた自然資源の活用

歴史・文化的資源を活用した魅力の創出

【施策細分】

眺望地の保全・活用
自然をいかしたレクリエーション機能の充実

貴重な樹木・樹林の保全、活用
歴史・文化的資源の魅力の創出

基本方向5 公民連携による活力のあるまちづくり

地域の公園・緑地の維持管理や運営について、地域住民や事業者の積極的な参画とその仕組みづくりを推進し、地域と行政の協働と連携による緑のまちづくりを進めます。

基本方向⑨ 公民連携による緑のまちづくりの推進

【施策】

参画と協働のまちづくりの推進

緑化活動・花いっぱい推進

緑を通じた都市と農村の交流促進

民間活力を活用したまちづくりの推進



【公園愛護会の活動】



【花壇づくり】

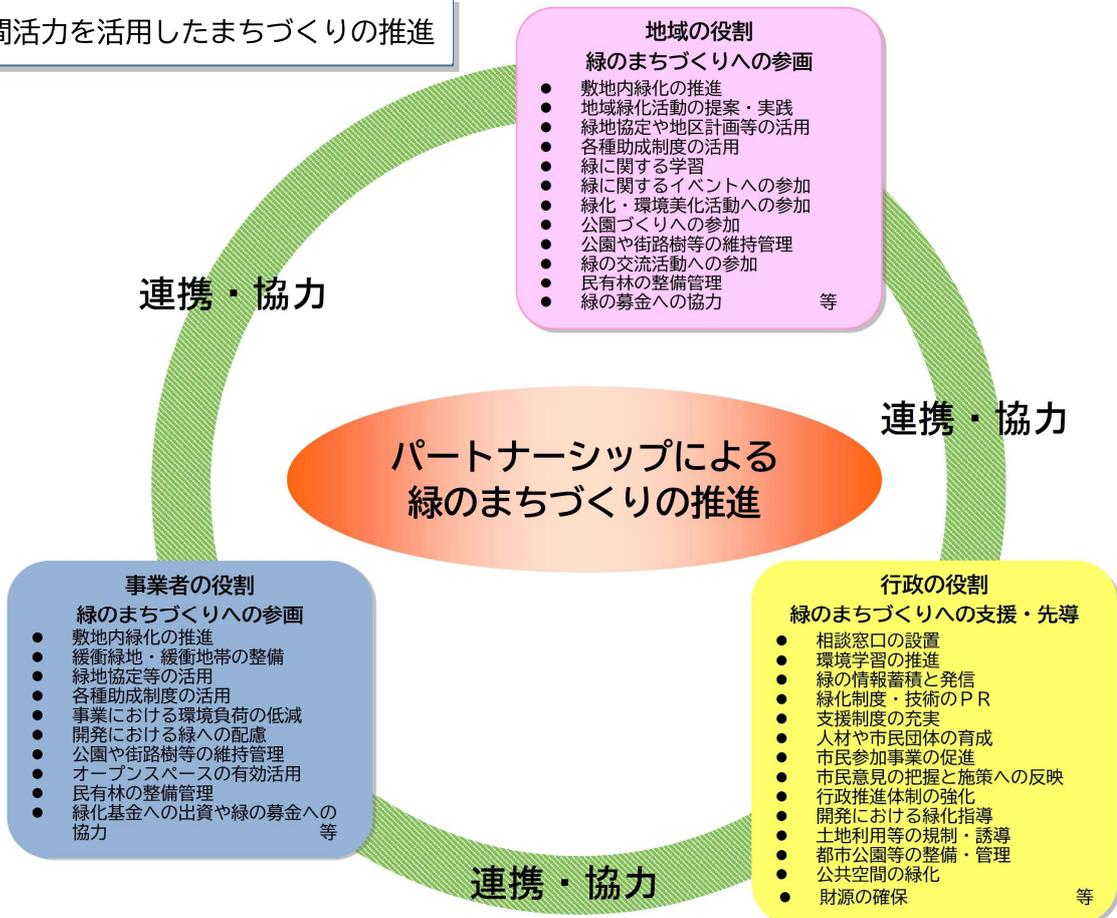


図 公民連携による緑のまちづくり推進例

基本方向⑩ 緑を守り、増やすための人づくり

【施策】

緑化意識の高揚・啓発

緑に関する知識・技術の普及

緑や環境に関する学習



【永源山公園 “チューリップ満開作戦”】



【京大講座（一般）】

(2) 中心市街地周辺地区

中心市街地周辺地区は、周南市のシンボルとなる地区であり、駅周辺整備事業等の市街地整備と連動した緑化や、地区内における一体性・回遊性を意識した緑化を図るとともに、市民の参加・協力による緑化を促進します。

徳山公園は、文化会館や動物園を有する総合公園として、新たな魅力を創出し、市民が気軽に集える憩いの場として多様なレクリエーション機能の充実と緑の保全を図るとともに、都市防災機能の充実に努めます。



【徳山公園（徳山動物園）】

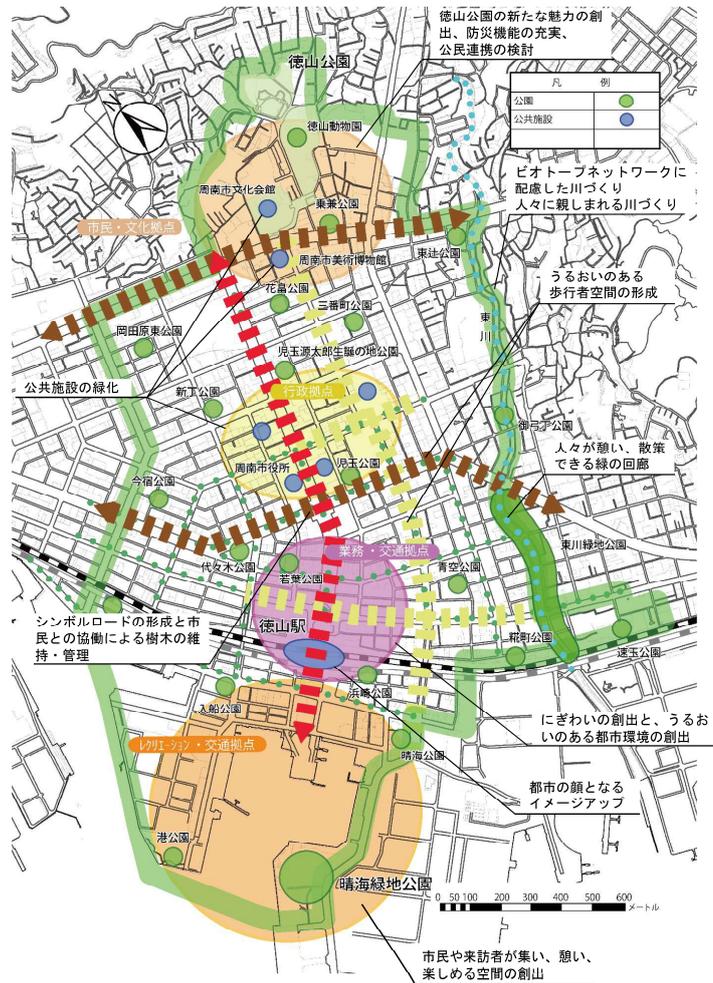


図 中心市街地周辺地区

(3) 周南緑地周辺地区

周南市の公園の中核である周南緑地は、市街地における貴重な緑であり、市民参画の下、その自然環境の保全に努めるとともに、自然とふれあえる環境学習の場の拠点として、広く活用を図ります。また、周南市のスポーツ・レクリエーション拠点として、施設の充実を図ります。

周南緑地と隣接する周陽公園とともに、災害時等における広域防災拠点としての整備・充実に努めます。



【周南緑地】



図 周南緑地周辺地区

地域別の緑の配置方針

地域別緑の配置方針では、周南市を7つの地域に区分し、それぞれの地域の特性や主な課題を踏まえて、各地域の緑の将来像などを示しています。

1. 都心部地域

周南市の都市機能が集積しており、計画的な市街化により街路樹や都市公園などが整備され、周辺の街並みと調和した憩いと安らぎの空間を創出しています。また、周南市を代表する周南緑地、永源山公園、徳山公園は多くの市民に親しまれているスポーツ・レクリエーション等の拠点となっています。

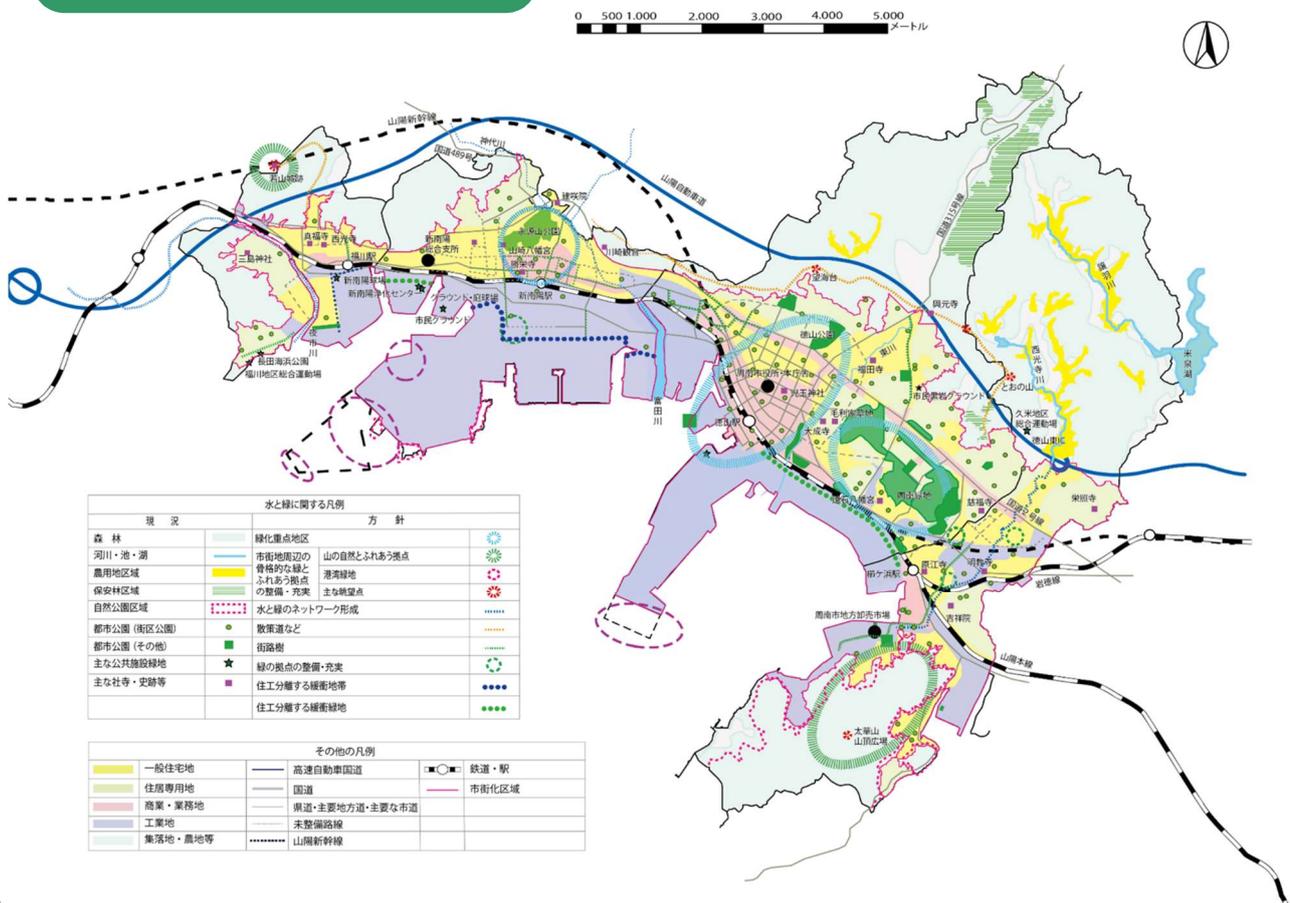
緑の将来像

うるおいのある緑により、安心・安全、快適に暮らせ、
文化と活力があふれ、にぎわいのあるまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・利用者の多様なニーズに対応した
緑とオープンスペースづくり
- ・身近なオープンスペースの確保
- ・緑によるうるおいのあるまちなみの創出
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・緑とオープンスペースをいかした
市街地のイメージアップ
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進
- ・緑を守り、増やすための人づくり

図 都心部の緑の配置方針図



2. 西部地域

夜市川流域で、黒石山、観音岳、城山、飛松山、昇仙峰といった山林に囲まれ、湯野温泉は、周囲の田園風景と調和した空間を形成した観光地となっています。

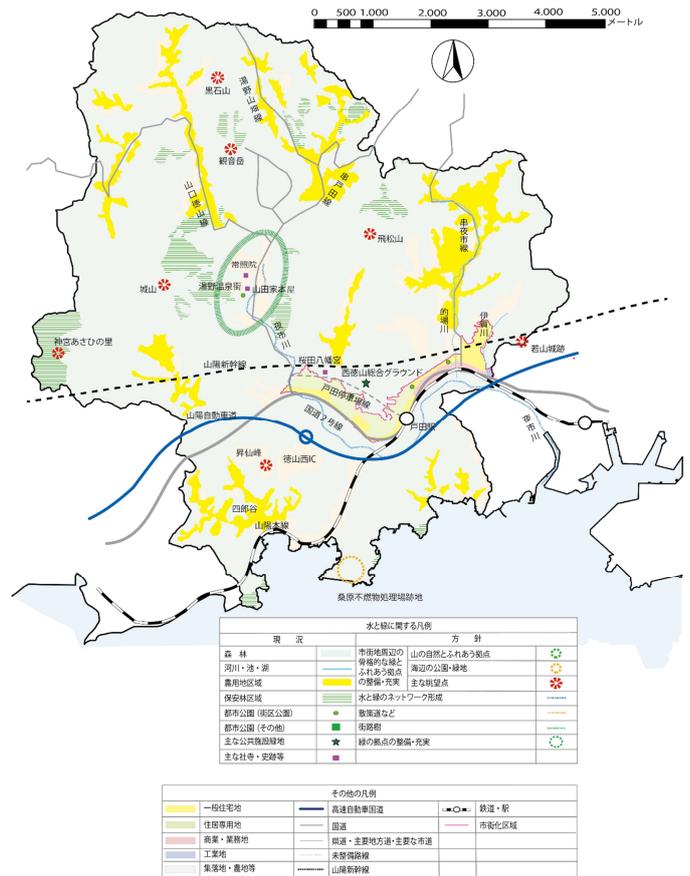
緑の将来像

川と“いで湯”で結ぶ
緑豊かな魅力あるまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり
- ・身近なオープンスペースの確保
- ・緑によるうるおいのあるまちなみの創出
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進

図 西部の緑の配置方針図



3. 北西部地域

富田川沿いに開けた地域で、四熊ヶ岳をはじめとする山林に囲まれ、北側には菊川湖が位置しています。地域には美しい棚田が存在し、伝統的な風景が広がっています。

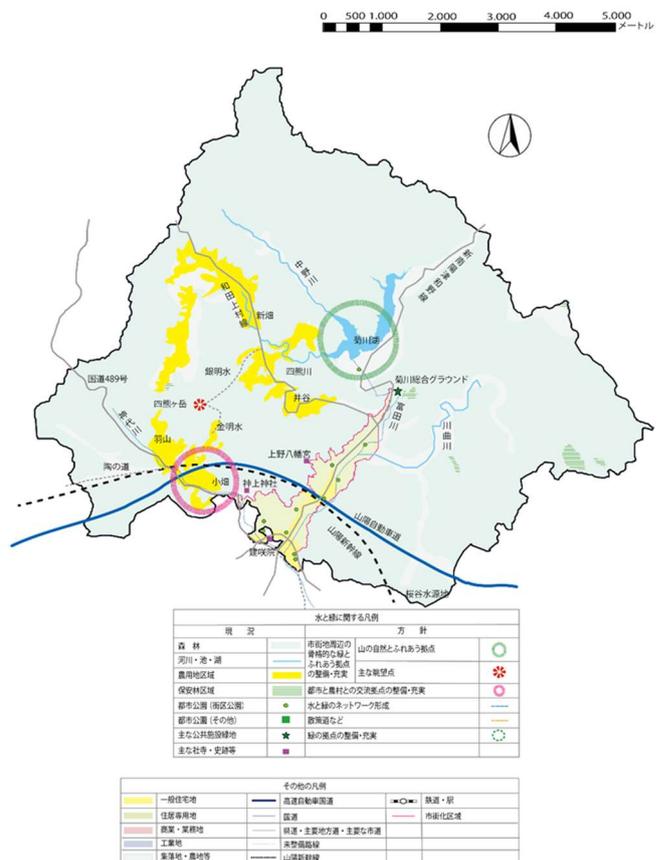
緑の将来像

水と緑と共に暮らし、
憩いと安らぎのあるまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり
- ・身近なオープンスペースの確保
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進

図 北西部の緑の配置方針図



4. 東部地域

烏帽子岳等の山林に囲まれ、地域の東南一帯は石城山県立自然公園に指定されています。また、三丘温泉や呼鶴温泉などの観光地が存在しています。

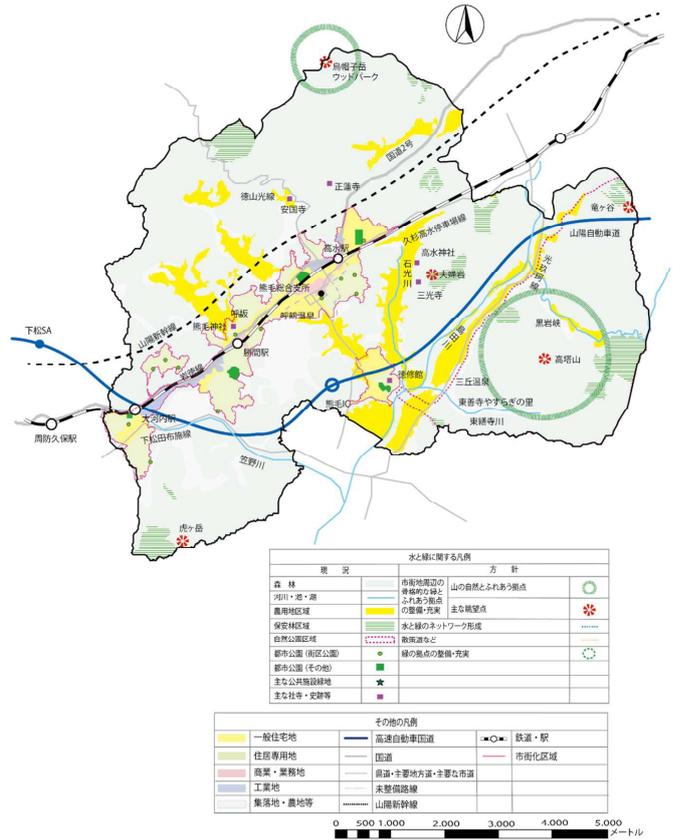
緑の将来像

憩いとやすらぎのある緑のなか、コミュニティ豊かに暮らせるまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり
- ・身近なオープンスペースの確保
- ・緑によるうるおいのあるまちなみの創出
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進

図 東部の緑の配置方針図



5. 島しょ部地域

瀬戸内海に浮かぶ大津島・黒髪島等の島々と、大島半島、梶島から構成された地域で、大津島には人間魚雷「回天」の記念館と訓練基地跡があり、保養・観光・学習ゾーンとしての条件を備えています。

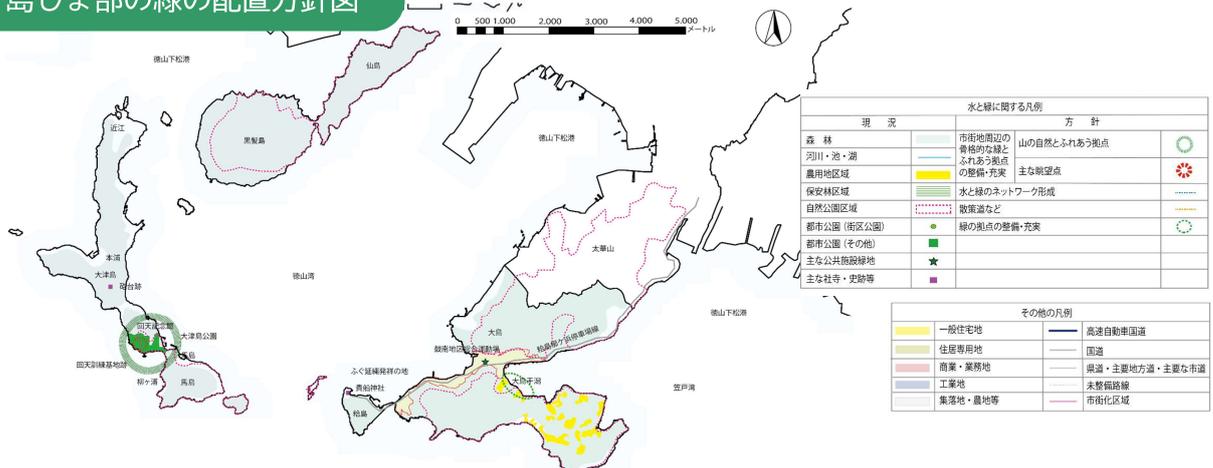
緑の将来像

美しい海と山と歴史による交流をいかし、自然を大切にするまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり
- ・身近なオープンスペースの確保
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進

図 島しょ部の緑の配置方針図



6. 北部地域

高瀬湖、向道湖、菅野湖といったダム湖や、国の特別天然記念物であるナベツルの渡来地、天然記念物の大玉スギなどの貴重な自然資源と、観光農園等の自然とふれあい、楽しめる空間が多く存在しています。

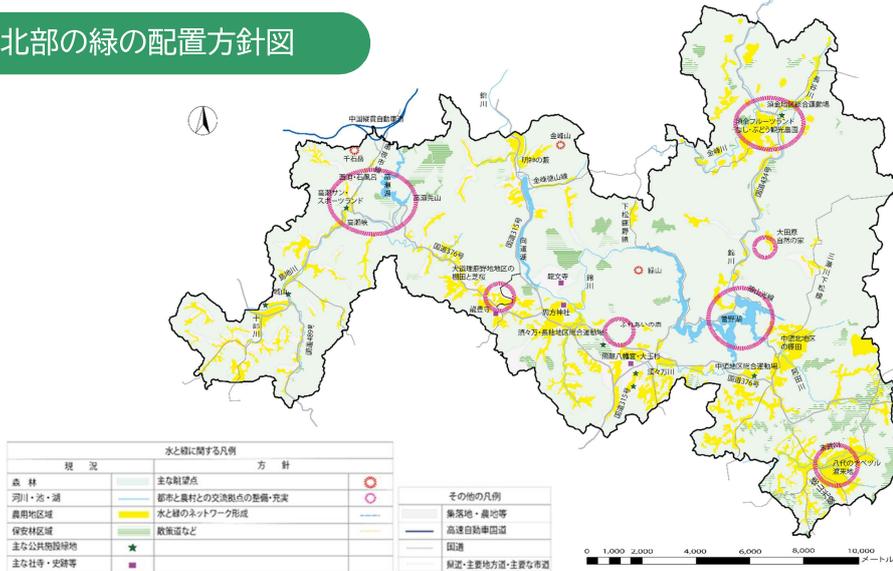
緑の将来像

恵まれた水と緑にいだかれ、人と動植物が共生し、
自然とふれあいながら暮らせるまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進
- ・緑を守り、増やすための人づくり

図 北部の緑の配置方針図



7. 中山間部地域

市域の最北部に位置し、周囲は山口県百名山に位置付けられている雄大な山々に囲まれています。また、石船温泉やせせらぎパークなど観光レクリエーション施設が豊富に存在しています。

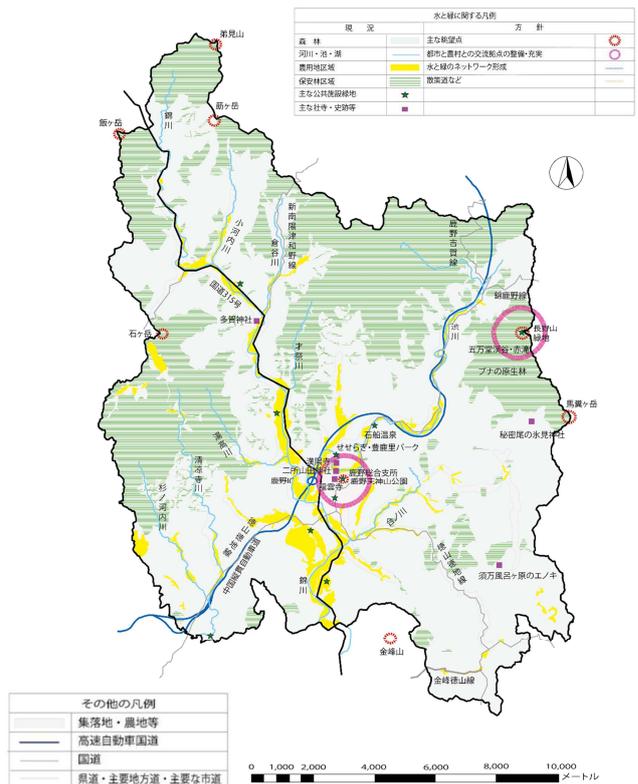
緑の将来像

高原の豊かな緑と清流のもと、
自然と歴史を味わう癒しのまち

緑の保全と創出に関する地域の方向

- ・都市の骨格となる緑の保全
- ・自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成
- ・身近なオープンスペースの確保
- ・安心・安全に暮らせる緑の創出
- ・地域の個性や資源の保全・活用
- ・公民連携による緑のまちづくりの推進
- ・緑を守り、増やすための人づくり

図 中山間部の緑の配置方針図





周南市緑の基本計画（概要版）

平成20（2008）年6月
（令和3（2021）年3月改訂）
編集・発行 周南市

〒745-8655 山口県周南市岐山通1丁目1番地
E-mail koen@city.shunan.lg.jp
